

HAKU

美容医療か。美白美容液か。 「HAKU メラノフォーカス EV」誕生

HAKU で初めての深透体験。美白有効成分がシミのもとに速く深く届く。

～2023年3月21日(火)発売～

資生堂は、18年連続美白美容液売上 No.1^{※1}の美白ブランド「HAKU」から美白有効成分がシミの原因に根本アプローチする美白美容液「HAKU メラノフォーカス EV」(医薬部外品)【全2品 参考小売価格 9,700円～10,000円(税込 10,670円～11,000円)】を2023年3月21日(火)に発売します。

*美白は、メラニンの生成を抑え、シミ・そばかすを防ぎます。

*価格は参考小売価格です。(店舗によって異なる場合があります)

※1 インテージ SRL/SRI+ 美白美容液市場 2005年1月～2022年12月 HAKU 金額シェア

◆HAKUはシミ予防のための美白美容液として2005年に誕生。2011年に、日本で初めて美白有効成分4MSK^{※2}とm-トラネキサム酸^{※3}の2種同時配合に成功しました。2021年には、「美容医療か。美白美容液か。」のメインコピーを発信。誕生以来進化を続け、発売以来18年連続美白美容液市場売上 No.1^{※1}、「メラノフォーカス」シリーズの累計売上は1,920万本^{※4}を突破し、多くのお客様に愛用いただいています。

◆「HAKU メラノフォーカス EV」(医薬部外品)は、シミができる肌特有のダメージ状態を徹底的に研究した先端のシミ予防研究から生まれた美白美容液です。独自処方では美白有効成分をシミのもとに速く深く届ける、「深透体験^{※5}」を提供することで、シミの原因に根本アプローチします。新たに、うるおいを与えながら肌環境を整え明るく澄んだ透明感のある肌へ導くエイジツエクス(整肌・保護)と、なじみを助ける導入保湿成分^{※6}を配合。

※2 4-メトキシサリチル酸カリウム塩 ※3 トラネキサム酸 ※4 累計出荷個数 2005年4月～2022年12月

※5 美白有効成分がシミのもとまで「深く」浸透することを表す言葉 ※6 キシリット、ラウリルジメチルアミノ酢酸ベタイン、濃グリセリン



【HAKU メラノフォーカス EV (医薬部外品)】

【商品一覧】

全2品

商品名	分類	容量	参考小売価格
HAKU メラノフォーカス EV (医薬部外品)	薬用 美白美容液	45g	10,000円 (税込 11,000円)
HAKU メラノフォーカス EV レフィル (医薬部外品)		45g	9,700円 (税込 10,670円)

※価格は参考小売価格です。(店舗によって異なる場合があります)

発売背景

シミに対する意識調査^{※7}を行った結果、「美白有効成分がシミのもとに届くことが重要」という約 7 割の回答に対し、「現在使用の美白美容液は、シミのもとに届いていると思う」との回答は約 3 割に留まりました。

HAKU は、シミのもとに美白有効成分を届けたい意識に着目。本気でシミ予防に悩むすべての生活者に向けて、美白有効成分がシミの原因に根本アプローチする美白美容液として、「HAKU メラノフォーカス EV」(医薬部外品)を発売します。先端のシミ予防研究を結集し、美白有効成分がシミのもとへ速く・深く届く「深透体験^{※5}」を提供する美白美容液を開発しました。



※5 美白有効成分がシミのもとまで「深く」浸透することを表す言葉

※7 22年11月資生堂調べ 35-79歳女性 5000円以上美白美容液使用 n=200

HAKUについて

「HAKU」は、2005年に誕生以来、美白ケアのエキスパートとしてシミができる肌特有のダメージ状態を徹底的に研究するだけでなく、近年美容医療の普及にも着眼し、シミ予防サイエンスの革新を追求し続けてきました。

毎日のスキンケアで、美白有効成分がシミの原因に根本アプローチすることで、シミができる不安から解放することを目指します。シミの気にならない内側から輝きを放つような「美発光肌」で、輝き続ける人を応援するブランドです。

*美白とはメラニンの生成を抑え、シミ・そばかすを防ぐこと

プロモーションと販売チャネル

2023年3月下旬より順次、TVCM・WEB プロモーションを展開します。販売チャネルは、ドラッグストア・GMS・化粧品専門店など約19,000店です。あわせて、資生堂の総合美容サイト「ワタシプラス」などのECサイトでも販売します。

【商品概要】

※価格は参考小売価格です。(店舗によって異なる場合があります)

HAKU メラノフォーカスEV

(医薬部外品)

薬用 美白美容液

45g

10,000円(税込 11,000円)



HAKU メラノフォーカスEV

レフィル

(医薬部外品)

薬用 美白美容液

45g

9,700円(税込 10,670円)



シミができる肌特有のダメージ状態を徹底的に研究。
シミの原因に根本アプローチ。「美発光肌」で輝き続ける。

(肌断面イメージ図)



2種の美白有効成分(4MSK*1、m-トラネキサム酸*2) 配合

エイジツエキス(整肌・保護)新配合

なじみを助ける導入保湿成分*3新配合

肌なじみに優れたHAKUの独自処方。しっかり肌奥に届く2種の美白有効成分がメラニンの生成を抑え、シミ・そばかすを防ぎます。

○のびのよいなめらかな感触で、溶けるようになじみます。

○うるおいを与えながら、肌環境を整え明るく澄んだ透明感のある肌へ導きます。エイジツエキス配合(整肌・保護)

○長時間うるおいを守りながら、乾燥や肌荒れを防ぎます。

○乾燥による小じわを目立たなくします。(効能評価試験済み)

○無香料・アレルギーテスト済み・ニキビのもとになりにくい処方。

(全てのかたにアレルギーが起きない、ニキビができないというわけではありません。)

※1 4-メトキシサリチル酸カリウム塩

※2 トラネキサム酸

※3 キシリット、ラウリルジメチルアミノ酢酸ベタイン、濃グリセリン

<使用法>

○朝・夜の化粧水の後に、ディスペンサー2回押し分を手にとり、顔全体に広げます。

○気になる部分を中心に軽くおさえ、顔全体にしていねいになじませます。

参考資料 資生堂のシミ予防研究

【1】 最新の研究成果

お客さまの高い効果実感の期待に応えるチャレンジ 【美白有効成分の浸透速度・浸透量を高める技術】

資生堂は、通常は固体の物質が特定の分子と相互作用することで液体化する現象を応用し、薬剤の浸透率を飛躍的に高めるとともに皮膚の安全性も両立する世界初の導入促進成分を開発しました(図 1)。皮膚内のターゲットとする作用部位に薬剤を素早く浸透させるためには、安全性面などに課題がありました。しかし、今回開発した導入促進成分を活用することにより、安全性を保ちつつ、効率的に薬剤を浸透させることが可能になりました。

ヒトの皮膚を用いて美白薬剤の浸透促進効果の評価を行ったところ、新規導入促進成分により、薬剤浸透量が高まりました(図 2)。今回開発した新たな導入促進成分によって、浸透性に優れた機能的で効果的なスキンケア製品の実現を目指します。

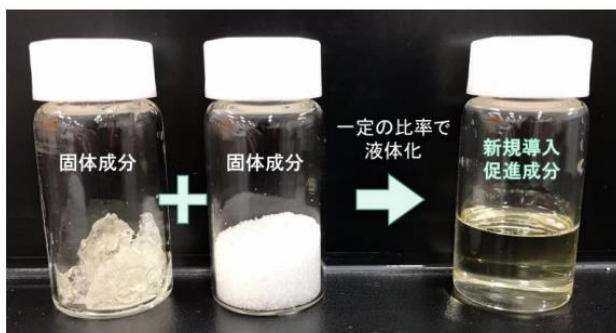


図 1 室温で固体の化粧品成分を液体化する特殊技術

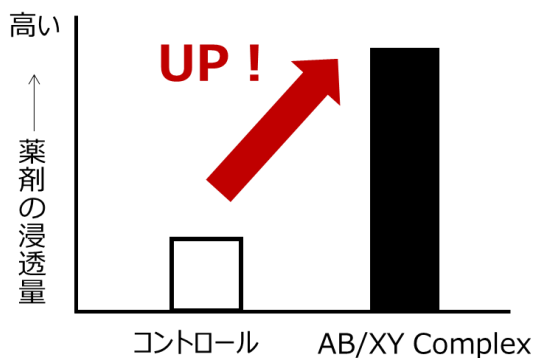


図 2 新規導入促進成分^{※1}により、薬剤浸透量^{※2}が高まった

※1 アルキルベタイン(AB)とキシリトール(XY)からなる複合成分 ※2 4-メトキシサリチル酸カリウム塩

シミだけではなくその周囲も含めた総合的解明のために 【メラノサイトの周辺環境とシミの関係性に迫る】

資生堂は、細胞同士を接着させる分子である E-カドヘリンがシミ部位で減少していることを発見(図 1)し、肌の E-カドヘリンの減少が、悪影響因子の分泌によるメラノサイトの活性化、メラニンの過剰生成、メラノサイトの停滞、メラニン取り込みといった、シミ部位特有にみられる様々な肌内部の悪化現象を引き起こす根源の一端であることを突き止めました(図 2)。また、E-カドヘリンの発現を高める効果がある新対応成分を見出しました。減少した E-カドヘリンを正常化することで、シミの発生・定着の予防および根本的な改善へのアプローチが期待されます。

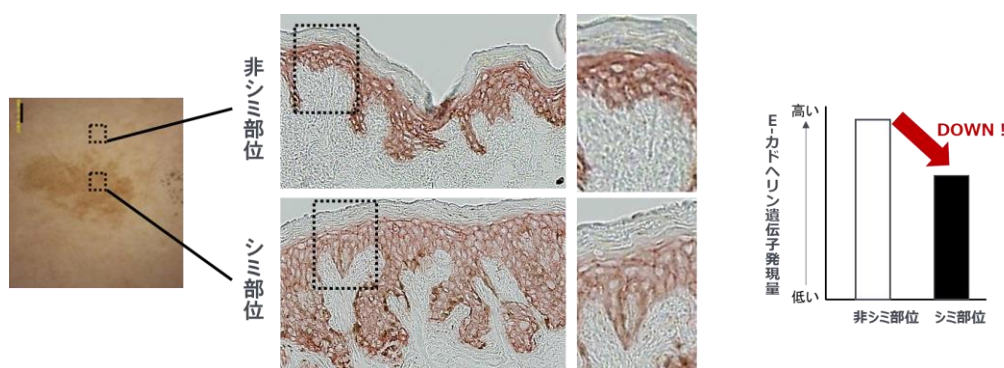


図 1 ヒト皮膚におけるシミ部位の E-カドヘリンの減少

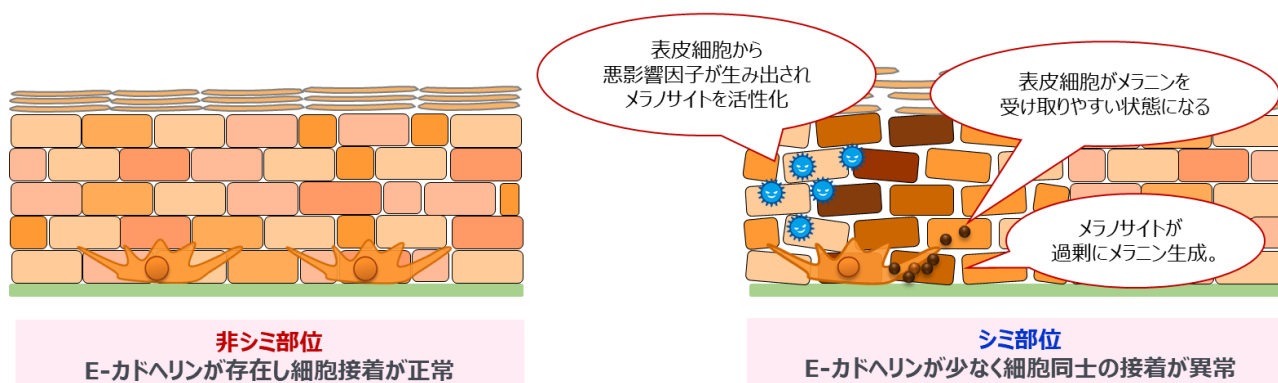


図 2 E-カドヘリンのシミへの関与メカニズム(イメージ図)

【2】 まとめ

100 年を超える資生堂のシミ予防研究の成果

資生堂がシミ予防研究を始めてから 100 年余。いつの時代も先端のサイエンスでこたえ続けてきました。1990 年代のアルブチンを皮切りに美白有効成分を次々と開発。日本で認可されている美白有効成分約 20 種類のうち、最多の 5 種類(アルブチン、安定型ビタミン C 誘導体、ビタミン C エチル、m-トラネキサム酸^{※3}、4MSK^{※4})を開発し、革新の美白化粧品を送り出してきました。最新の研究では、肌の深くに存在するターゲット部位に有効成分を届けるため、浸透速度・浸透量を高める新規浸透促進成分を見出しました。

また、長年にわたり、「メラニンの生成」という現象だけではなく、シミができる肌特有のダメージ状態を肌の表層から奥深くまで全方位的に研究してきました。2020 年には、美容医療で改善しにくいシミとその原因に着目し、レーザー治療による色素沈着は血管密度が高いシミほど改善しにくいことを発見しました。最新の研究では、シミの根本的な原因を探るべく、メラノサイトとその周辺環境を深掘りし、細胞同士を接着させる分子である E-カドヘリンがシミ形成の様々なプロセスに関与していることを明らかにしました。さらに E-カドヘリンの産生を促進する、有効なエキスを発見しました。今後もシミ予防の新たな価値創出に向けて研究を進めていきます。

※3 トラネキサム酸 ※4 4-メトキシサリチル酸カリウム塩